

いつもの教室で、世界を体験してきた講師と学ぶ

開発途上国の実情や日本との関係、国際協力の必要性について考える機会として、JICAボランティア経験者を講師として紹介するプログラムです。ご希望に応じて、開発途上国からの研修員をご紹介することも可能です。学校を中心に、毎年全国で2,000件以上、約20万人が受講しています。

活用方法

- ・総合的な学習の時間
- ・教科学習(社会・英語・道徳)
- ・キャリア教育
- ・オリンピック・パラリンピック教育
- ・テーマ学習(文化祭や修学旅行の事前学習等)
- ・教員研修・PTA講習会等

教師海外研修

先生が見た国際協力の現場、途上国の実情を子どもたちへ伝える!

教師海外研修は、国際理解・開発教育に関心を持つ教職員を対象に、世界の課題と日本との関係、国際協力の必要性について学んでいただくことを目的としています。また、帰国後は所属校にて研修成果を生かした授業を行い、学校における国際理解・開発教育の推進を担っていただけます。JICA東京では、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)を研修テーマとして設定しており、世界の課題を自分事として捉え、地域の課題にも目を向け、主体的に行動できる児童・生徒の育成を目指しています。

# JICA東京 『モノはどこからきているの?』 カードゲーム使用説明書

## 神経衰弱のように、モノと材料のくみあわせをあてるゲームです。

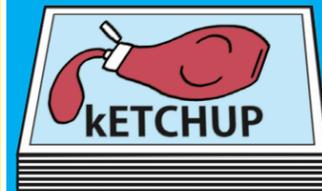
### 説明

このゲームは、身の周りのモノが、何からできていてどこからきているのかを考えることを通じて、開発途上国と、私たちの暮らしのつながりを感じていただくためのものです。

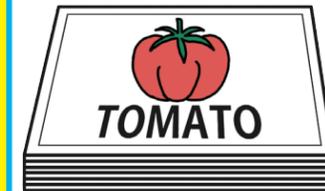
### 準備

カードをモノ(製品)(背景:水色)と材料(背景:白)に分けておく。

モノ(製品)  
(背景:水色)カード



材料  
(背景:白)カード



### 手順1

グループを作る。



### 手順2

各グループに適当な枚数のモノ(製品)、材料の対応するカードを配布、製品、材料の面を上にして並べる。



### 手順3

順番をきめ、最初の子どもから、まずモノ(製品)カードの中から好きなカードを1枚選ぶ。



### 手順4

次に、その製品に使われていそうな材料を考え、材料カードから選ぶ。



## 『モノはどこからきているの?』 カードゲーム使用説明書



## 手順5 両方のカードを裏返す。国旗が一致すれば正解。

**正解の場合**

そのままカードをゲット。世界地図からその国を探す。もう一度カードを選べる。

**不正解の場合**

カードを戻して次の子どもに交代する。

※連続だと一人の子どもが簡単なペアをたくさん取ってしまう可能性もあります。正解・不正解にかかわらず一回で交代する方法もあります。

## 手順6 全部のカードがなくなるまで続けていく。



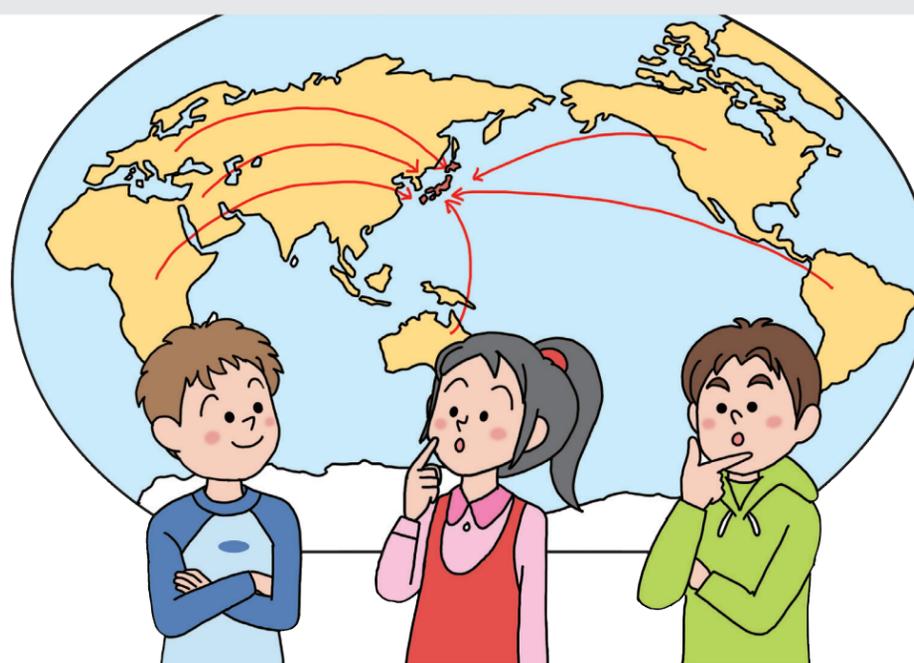
※カルタのように、先生がモノ(製品)カードを見せて、子どもが材料カードをあてる遊び方もできます。

## 手順7 カードの枚数を数える。



## まとめ

私たちが毎日使っているモノや普段食べているモノは、いろいろな国からやってきています。私たちが当たり前だと思っている日本の生活は、いろいろな国の資源によって支えられています。目に見えなくても、私たちの生活と世界は強くつながっています。だからお互いに協力し合い、助け合っていくことが大切です。みなさんも、家にあるモノや毎日食べているモノがどこからきているのか、普段から少し気にして考えてみてください。身の周りにあるモノがどこからきているのか想像してみるとみなさんの世界も広がっていきますよ。



独立行政法人 国際協力機構 JICA東京  
〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-5  
市民参加協力第一課  
Tel: 03-3485-7461  
E-mail: jicajgp-kyoiku@jica.go.jp

### 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

**あなたの言葉だからこそ伝えられる想いがある**

学校で習ったことやニュースで聞いたこと、自分の体験から感じたことをエッセイで伝えよう! JICAでは、開発途上国の現状や国際協力の必要性について理解を深め、自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的に、中学生・高校生を対象としたエッセイコンテストを毎年実施しています。

上位入賞者には、副賞として開発途上国へのスタディーツアーへ参加することができます。毎年、7万点を超える作品が寄せられています。夏休みの宿題や作文指導としてもご利用ください。過去の上位入賞者は、全国的なコンテストでの受賞歴として、大学の推薦入試でも評価されています。

### あなたのお近くのJICA相談窓口

- 国際協力推進員  
あなたに一番近いJICA窓口です。開発途上国で活動した経験を持つ国際協力推進員が、各地域のJICAデスクで皆さんのお越しをお待ちしています。
- 埼玉県 (公財) 埼玉県国際交流協会内  
☐ 090-4024-0253  
☐ jicadpd-desk-saitamaken@jica.go.jp
- 千葉県 (公財) ちば国際コンベンションビューロー内  
☐ 090-4024-0441  
☐ jicadpd-desk-chibaken@jica.go.jp
- 群馬県 (公財) 群馬県観光物産国際協会内  
☐ 090-4024-0097  
☐ jicadpd-desk-gunmaken@jica.go.jp
- 新潟県 (公財) 新潟県国際交流協会内  
☐ 090-4024-1323  
☐ jicadpd-desk-niigataken@jica.go.jp
- 長野県 (公財) 長野県国際化協会 (ANPI) 内  
☐ 080-1043-2268  
☐ jicadpd\_desk\_nagano@jica.go.jp
- 東京都についてはJICA東京までお問い合わせください。
- その他の地域については、各地の国際協力推進員にお問い合わせください。